

INAX

ギャラリー

Press  
Release

企画展のご案内

# 考えるキノコ展

## -摩訶不思議ワールド-



### 巡回展会期

大阪展 INAXギャラリー大阪

会期：2008年12月11日(木)～2009年2月19日(木)

休館日：水曜日 12/27 - 1/4

名古屋展 INAXギャラリー名古屋

会期：2009年3月6日(金)～5月21日(木)

休館日：水曜日、5/17

東京展 INAXギャラリー1

会期：2009年6月4日(木)～8月8日(土)

休館日：日祝日

<http://www.inax.co.jp/culture/>

2008年11月

## 開催概要

タイトル：考えるキノコ-摩訶不思議ワールド-

英語タイトル：The Many Faces of the Mysterious Mushroom

企画：INAXギャラリー企画委員会

制作：株式会社INAX

協力：飯沢耕太郎、池田良幸、大阪市立自然史博物館、小寺祐三、佐野書店、  
仙台市科学館、千葉菌類談話会、千葉県立中央博物館、西尾製作所

入場料：無料

開場時間：10時～18時

WEBサイト：<http://www.inax.co.jp/culture/>

各会場の住所および問合せ先

### INAXギャラリー大阪

TEL：06-6733-1790 FAX：06-6733-1791

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4-1-3 伊藤忠ビル1F

### INAXギャラリー名古屋

TEL：052-201-1716 FAX：052-201-1730

〒460-0003 名古屋市中区錦1-16-20 INAX名古屋ショールーム2階

### INAXギャラリー1

TEL：03-5250-6530 FAX：052-201-1730

〒104-0031 東京都中央区京橋3-6-18 INAX：GINZA 2F

## 本展について

キノコについて、私たちは知っているようで、実は知らないことが多いようです。キノコは植物でも動物でもなく、菌類という微生物です。普段私たちが「キノコ」と呼んでいるのは、子実体<sup>しじつたい</sup>という胞子を作るための生殖器官であり、植物でいうところの「花」にあたります。さらに、キノコの生命活動のほとんどが、地上の花部分から地中に張り巡らされている菌糸によって担われている事実も驚きです。およそ4億年前から活動しているキノコですが、現在も科学的に解明されていないことも多く、それゆえその存在の虜になる人は少なくないと言います。今展では、神出鬼没で摩訶不思議なキノコの世界を、キノコに魅入られた人々の視点で多角的に考察し、多彩な働きやその魅力を紹介します。

キノコは植物や動物の死骸や排泄物を分解して、土に還す役割を果たし、同時に植物や動物から栄養をもらって彼らと共生しています。このキノコによる分解・還元作業が、森をつくり育てるといった自然の営みを支えているのです。また、その愛らしい姿は胞子をより遠くへ飛ばすため形成されたかたちだったこともあまり知られていません。はっきりとは目に見えないキノコの生活や暮らしを改めて考えてみると、私たちの気付かない新しい発見をもたらしてくれるのではないのでしょうか。

会場では、まず、博物館や科学館の研究者たちによる、展示・研究資料としてのキノコのあり方をご覧ください。そのひとつが、凍結乾燥標本です。もとの状態に近い形・色が残るため、博物館ではフィールド観察で得た情報と証拠品をこの方法で保存します。その他、立方体の樹脂に埋め込んだ樹脂包埋の標本や、精巧な完成度のレプリカなどあわせて200点ほど、記録が難しいキノコの様々な標本スタイルをお見せします。また西欧で18-19世紀にか

けて、キノコ博物学が黄金期を迎えた際に出版された書籍類などは図版と一部実物でも紹介、他の時代を圧倒するディテールの美しさを伝え、当時の作家の観察眼の鋭さを伺うことができます。さらに、日本のキノコ図鑑の中でも緻密さと正確さで有名な『北陸のきのこ図鑑』の著者、池田良幸氏によるキノコの原画類も約 100 点登場。またキノコ愛好家の間では知る人ぞ知る存在の青木実氏が完成させた『日本きのこ図版』より手書き顕微鏡図の一部も初お目見え、それぞれが情熱を傾けて採集・分析・記録した偉業の一端をご覧ください。他に、キノコの妖しさに惹かれた写真評論家、飯沢耕太郎氏が収集したユニークな世界のキノコ切手の数々、菌の働きについての解説パネルや、胞子のかたちを知る顕微鏡写真なども登場します。

人間界にも通じる哲学や世界観など様々な表情と可能性を秘めたキノコ。食べるだけでなく、見て調べて考えることによって、新たな面妖性や多様性を感じていただく機会です。是非ご期待下さい。

## 関連企画のご案内 <大阪展>

講演会 「キノコを知る - 見えない世界の不思議」  
講師 佐久間大輔（大阪市立自然史博物館学芸員）  
日時 2009年1月30日（金）18：30～20：00  
会場 INAX大阪ショールーム イベントスペース  
参加無料、要申込（TEL：06-6733-1790、e-mail：[xbn@i2.inax.co.jp](mailto:xbn@i2.inax.co.jp)）

キノコを楽しむのは味覚だけではありません。このキノコは何者だろう、どんな生活をしているのだろうと飽きることのない知的な好奇心をそそる対象として、魅力に溢れている存在だと研究者はいいます。そのようなキノコの世界を今回は専門家の視点で、生態の不思議や種類の数だけあるしくみや働きの違い、生と死の橋わたし役を担う戦略や企みなどを解説いただきます。自然科学から哲学まで、存在がもつ魅力を感じ見方や楽しみ方を教えていただく内容です。また国内外の博物館におけるキノコ研究のありようや最前線、フィールド視察のようすなど、キノコ写真も沢山まじえてご紹介くださる予定です。

名古屋・東京巡回時にも関連企画を行います。詳細はWEB サイト上でご案内いたします。

## INAX ブックレットのご案内

### INAX BOOKLET 『考えるキノコ - 摩訶不思議ワールド - 』

（72<sup>ページ</sup> -<sup>ページ</sup> 内カ<sup>ページ</sup>-36<sup>ページ</sup> -<sup>ページ</sup>、定価 1,575 円、12月上旬発行）

#### 目次

- 【エッセイ】 はじめに 大館一夫（キノコ研究者）
- 【図版構成1】世界のビジュアルキノコ狩り
- 【再録】生態を見つめる 科学映画（故・樋口源一郎）「きのこの世界」の映像より
- 【図版構成2】ディテールを知る 近・現代博物誌に描かれたキノコ  
フランス、イタリア、ドイツ、日本ほか
- 【論考1】「キノコ研究の古今東西」吹春俊光（千葉県立中央博物館上席研究員）  
研究者人物伝1：樋口源一郎  
研究者人物伝2：青木実  
「キノコに向き合う」佐久間大輔（大阪市立自然史博物館学芸員）
- 【論考2】「イメージの系譜学 この奇なきのこ」飯沢耕太郎（写真評論家）

- 本件に関するお問い合わせ -

INAX ギャラリー大阪 担当：高橋  
TEL：06-6733-1790 FAX：06-6733-1791  
〒541-0056 大阪市中央区久太郎町 4-1-3 伊藤忠ビル 1F

INAX ギャラリー名古屋 担当：大原  
TEL：052-201-1716 FAX：052-201-1730  
〒460-0003 名古屋市中区錦 1-16-20 INAX 名古屋ショールーム 2 階

INAX ギャラリー1（東京） 担当：筧  
TEL：03-5250-6530 FAX：052-201-1730  
〒104-0031 東京都中央区京橋 3-6-18 INAX：GINZA 3F

<http://www.inax.co.jp/gallery/> E-mail：xnb@i2.inax.co.jp

取材希望および本展覧会の作品写真借用などは上記へお問合せください。

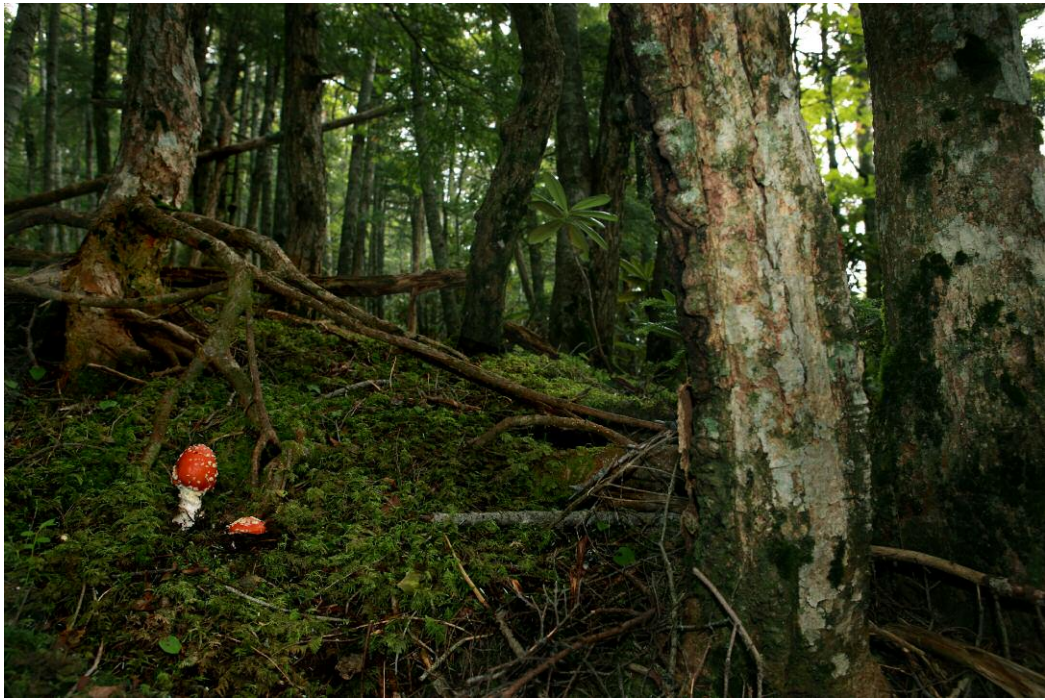
- \* 本プレスリリースの掲載写真はダウンロードしてご使用いただけます。
- \* 本展告知以外での使用、転載を禁じます。ご使用に際しては撮影者名をお入れください。
- \* ご使用にあたっては上記担当者までご連絡くださいますようお願いいたします。
- \* 容量が足りない場合および、その他の写真については、担当者までお問合せください。

ご提供可能な画像

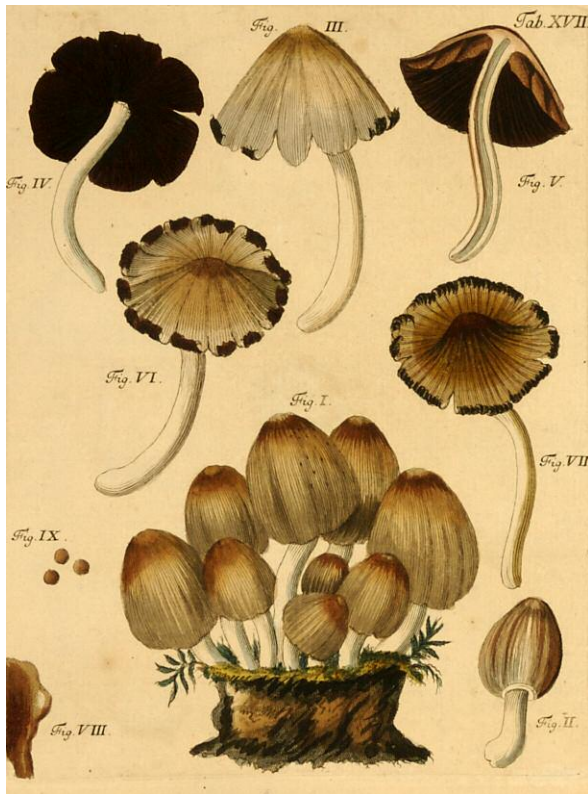


写真：「凍結乾燥標本」のキノコ。凍結乾燥標本はもとの状態に近い形・色が残るため、博物館ではこの方法で長期保存を行っている。

所蔵 / 大阪市立自然史博物館  
撮影 / 杉原正樹



写真：富士樹海でのベニテングタケ。日本のベニテングタケはカバノキの仲間と共生し、これらの樹木の生える森にのみ発生する。 撮影 / 菅野秀明



写真：『バイエルン・パラティネート・レーゲン  
スブルク地方における菌類原色図譜』  
(1800年/ドイツ)よりヒトヨタケ属の一種。  
この図譜はドイツで発行された菌類図譜の中で最  
高とされるものである。  
所蔵 / 千葉県立中央博物館 撮影 / 杉原正樹



写真：『モリユンソン地方の大型菌類図譜』（1869～71年 フランス）よりベニテングタケ。

140葉のオリジナル水彩画による図版と8葉の手彩色同伴がによる図版が入った図鑑。デザイン化された独特の珍しい図が多い。

所蔵 / 千葉県立中央博物館 撮影 / 杉原正樹



写真：『本草図譜』<岩崎常正（灌園）1921年の復刻版（オリジナルは1830～44年に刊行）より>ムラサキヤマドリタケ。

原本は作者手描きの精密な写生図。写真は1921年に白井光太郎ほかの監修により復刻したもの。所蔵 / 千葉県立中央博物館 撮影 / 杉原正樹